白寿

発行者
藤崎町老人クラブ連合会
広報委員会
藤崎老人福祉センター内
電話　七五―三二三二

新しい生活様式は地域ふれあいサロン

館川シニア倶楽部

館川シニア倶楽部では、令和4年度に地域住民の交流活動を通して、高齢者・障害者・子供が助け合いながら、住民同士のつながりを持つことが必要であると考えました。

会合を持ちながら老人クラブ会員と共に、若い世代や子ども達の主体的な参加を促し、一人ひとりが自分の役割を果たして笑顔でありたいと期待し、この活動を立ち上げました。

この活動は、県老連の事業で、令和4年度「地域高齢者担い手事業」の補助を受け実現することが出来ました。事業の内容は

1 多様な生活支援　**2** 多様な集いの場づくり
3 見守り支援　**4** 健康づくり

の四項目を重点にしています。

◎ この事業を実施して

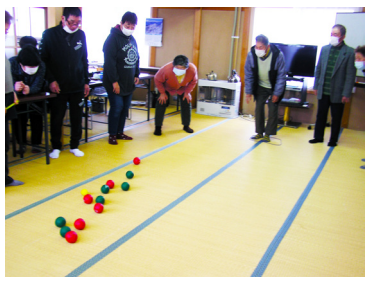
(1). 新規加入者があり、毎月2回〝いきいきふれあいサロン〟を実施し、地域住民の交流が多くなりお互いの支え合いが活発になったと思います。

(2). 月1回の脳トレを行い、在宅支援・見守り支援や安否確認等の情報交換の場となりました。

(3). 地域高齢者担い手3名程が、活動を通して成長しつつあります。活動には積極的に参加協力して自主的活動の輪が広がりました。

令和4年度は、藤崎町老連では、館川シニア倶楽部の他に以下の団体がこの事業にに参加しています。①白子高砂会　②グラウンドゴルフ部　③ふじ健大OB会（県老連主催 健康福祉大学校 藤崎町卒業生の会）も一団体当たり5万円の補助金を受けて活動しました。

令和5年度も県老連では、この事業を継続して行う予定です。〝いきいきサロン〟を行っている処の参加団体は、応募しては如何でしょう。


ペタンク競技を楽しむ

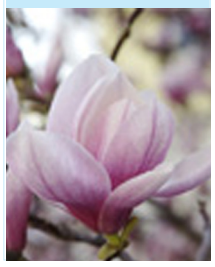
料理講習

生け花講習（フラワーアレンジメント）

館川地域担い手事業の実施内容

月　日	参加者	内　　容	講　　師
8/21	13名	・フレイル予防 ・県の健康課題は？	講師　藤崎町福祉課保健 佐藤　竜光氏
8/28 9/11 9/25 10/9 10/23 11/13	50名	・認知症予防のための 脳トレ学習 ・いきいき健康体操 ・軽スポーツ（ペタンク）	運営　会長　木村トモ子
11/27	19名	・研修旅行（ロマントピア） ・ペタンク大会	講師　福田　慶子氏 加福　和子氏
12/11	19名	・減塩料理教室	講師　藤崎町栄養士 成田　由美子氏 藤崎町食生活改善推進委員 須藤　弘子氏
12／13	16名	・防火講習 ・救急法 ・消火器使用法	講師　弘前地区消防事務組合 東消防署北分署 金崎　敏行氏
1／15	21名	・お花教室 「フラワーアレンジメント」	講師　佐々木陽子氏
1／22	17名	・地域高齢者担い手 事業の総括と問題点	運営　会長　木村トモ子

蓮春
季節：木



◇町老連理事会のお知らせ◇

単位老人クラブ会長・専門部長
広報委員長・女性部長・若手委員長　〕各位

一　日　時　4月13日㈭　午前10時
二　場　所　藤崎町文化センター　多目的ホール
三　案　件
(1) 令和4年度事業報告・収支決算について
(2) 令和5年度事業計画㈜・収支予算㈜について
(3) 令和4年度実績報告書・令和5年度補助金等申請書の提出について
(4)その他
四、お願い
会長・部長・委員長が欠席する場合、必ず代理役員等を出席させて下さるようお願いします。

町老連定時総会のお知らせ

単位老人クラブ会長・専門部長
広報委員長・女性部長・若手委員長　〕各位

一、日時　4月28日㈮　受付　9時30分～
総会開始　10時
二、場所　藤崎町文化センター　多目的ホール
三、案件
(1)令和4年度事業報告・収支決算について
(2)令和5年度事業計画㈜・収支予算㈜について
(3)その他
四、交通安全・特殊サギ防止講習会（弘前警察署）
五、参集範囲
各単位クラブ3名以内、専門部3名以内、広報委員3名、女性部3名・若手委員9名
六、申込締切　4月13日㈭
各単位クラブには「白寿4月号」に申込書を同封し、専門部・女性部は、藤崎・常盤両福祉センター窓口にある申込書で申し込んで下さい。
※4月13日㈭理事会迄に左記申込先へ提出して下さい。（電話での申込は受付しません）
藤崎老人福祉センター　FAX　七五―二一二八
常盤老人福祉センター　FAX　六九―五二六二

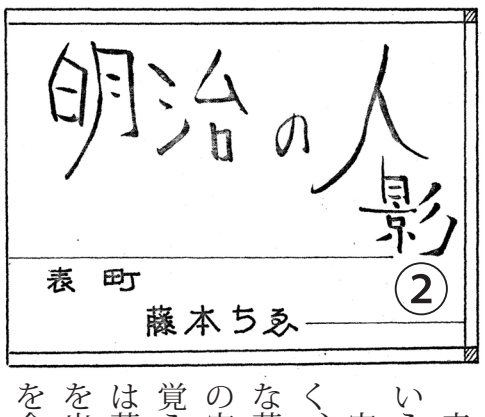
春季トランプ大会のお知らせ

一、日　時　5月13日㈯　午前9時 開会
（受付8時30分～）
二、場　所　藤崎老人福祉センター集会室
三、対象者　町内老人クラブ会員で男女は問わず。
四、種　目　個人戦のみ（午前3試合）
☆3回戦の取得点数の合計点で決定。
五、会　費　壱千円（賞品・弁当代　当日集金）
六、申込締切　4月28日㈮迄　両福祉センターへ
七、その他　（電話での申込は受付しません）
①大会は町老連大会ルールで行い、その他必要な事項については、当日説明します。
②表彰は1位～10位迄と、飛び賞・ブービー賞です。また、参加者全員に参加賞を差し上げます。
③昼食は、事務局で用意し、持ち帰りとします。
④大会会場で「賭け・飲酒・喫煙」は禁止です。

4　月　行　事　予　定　表

日	曜	行　事	時刻
1	土	レクダンス部	9:30
2	日		
3	月	芸能部	12:00
4	火	**老連役員会**	**10:00**
		囲碁・将棋部	12:30
5	水		
6	木	**女性部役員会**	**10:00**
		囲碁・将棋部	12:30
7	金		
8	土	レクダンス部	9:30
9	日		
10	月	生け花部	10:30
		芸能部	12:00
11	火	囲碁・将棋部	12:30
12	水	茶道部	13:00
13	木	**老連理事会**（文化セ）	**10:00**
		囲碁・将棋部	12:30
14	金		
15	土		
16	日		
17	月	芸能部	12:00
18	火	**補助金申請相談日 17~18**	9時～正午
		囲碁・将棋部	12:30
19	水		
20	木	囲碁・将棋部	12:30
		広報委員会	**13:30**
21	金		
22	土		
23	日		
24	月	生け花部	10:30
		芸能部	12:00
25	火	囲碁・将棋部	12:30
26	水	茶道部	13:00
27	木	囲碁・将棋部	12:30
		【白寿】配布日	**16時以降**
28	金	**老連総会**（文化セ）	**10:00**
29	土	**昭和の日**	
30	日		

先輩に学ぶ 旧藤崎町老連文集「白寿」から (34)
第三号 昭和59年度 (21)



表町に甚兵衛和尚という人が居た。

定まったお寺も無く、墓守りをするような墓もないのだが、何の宗旨でもお経を一つ覚えている。その当時は葬式の会葬者にお昼を出したもので、料理を食べてから葬儀が始まるのである。藤崎中が檀家の様なもので、甚兵衛和尚はどこにでも出かけてご馳走になり、お布施をもらって来るのである。老人達は何にでも良くはまる人を「甚兵衛ぼんずだな」と言ったものだ。

この和尚さんとオベ様や数人で句会を開くことになった。親分に句会の名前を付けてもらおうと頼んだら、親分は「めい人ばかり集まっているハデ〃めい人会〃テへば良いデバ」といった。

和紙に筆で句が書かれていて、表紙には「迷人会」と書いてあった。

その工夫がまた面白い。

・西むいた犬のしっぽは東向き
・何日もだみ（だみ＝葬式）の無い日は腹がヘリ
・いい法事お布施とお膳が重くなり
・すき腹に仏心はなかりけり
・目出度いや鯛やひらめや魚かな
・これショッパイ水持って来い塩の引
・木のすずめ宿にとまりてだまりけり
・汽車も馬も速いおれトンヂャも速いかな

※トンヂャという男の子が一年で落第したが、運動会のマラソンは一番であった。その子のオドサの句だそうな

また、和尚の句もいい。

・名月ややりのトチャギ（先端）こ杉の枝
　さぞやお月様あぶねごちゃべし

短歌

表町　藤本ちゑ

みどり子の眠り安けし一望の
稲田は黄の秋夕映の中

岩木嶺のま白になりし今朝の冷え
八十路の我はおきがたくなり

老いに入り心もとなく物習ふ
日々の暮らしによろこびのあり

夕映に岩木嶺はるかくれ残り
またもえつきる海の残照

もみじ葉に光差しこみ紅らみし
色は目を射る黒森の里

落葉敷く道歩みつつくれないの
落ちる一葉をおしみて拾ふ

かた目には思ひなやむ事もなく
うき世のあらしララバイと聞く

いつの日か迎えの来るを待つ身には
月花水を良き友として

常盤ひとり旅　第三回
石澤清五郎

平成15年2月村内神社で年縄が奉納されてる地区は榊、徳下、福島、福館、常盤の五社となっている。この年縄は、作り方や大きさに大小の差があり、また奉納に当たっても軽トラに積んだり、清裸になったりと様々だが、常盤八幡宮年縄奉納行事は〃常盤村無形民俗文化財〃に指定されている。

（昭和63年3月19日指定）

その指定申請書によると次の通り書かれているので、参考までに抜粋して補筆する。

「年縄奉納についての文献は一切見当たらない」。

これは国の政策とは関係なく、全く民間の信仰行事であるが為で、当時、民間に文筆者が少なかった故と思われる。現在続けられている弘前市鬼沢、五所川原市飯詰地区では江戸時代と称しているが、文献がないのでこれも定かでない。常盤八幡宮年縄奉納も右の通りで事実を証明するものは、昭和10年からの記念写真だけである。しかし古老の語るところによれば「八幡宮建立当時から1年も欠かすことなく続けられてきた」と言い伝えられ、代々それを信じ現在に至っている。

常盤八幡宮の建立は、神主円太夫の本柳村（貞享3年常盤村と改称）〃八幡堂覚〃に「右御堂ハ万治7年（寛文4年＝一六六四）二村中旦那共新建致候」とあり、また、〃社堂境内記〃に「南向、二尺六寸（約78㎝）の御神体を祀る神楽殿あり……」。

注連縄（しめなわ）は社の祭りに際して、奉納されていたことは、日本書記、古事記にも見られることから、神代の時代からのものと思われる。

以上のことから察するに、常盤八幡宮の年縄奉納行事は、形態に変化はあったろうが、相当古くから続けられて来た行事であると解される。

古来、若者組・青年団の手で続けられて来たが、社会の移り変わりにより昭和51年（一九七六）から〃常盤地区コミュニティ活動推進協議会〃（俗称「部落会」）が引き継ぎ、年々盛大……。

年縄奉納のお供え餅

古来津軽一円で行なわれてきた行事と思われるが、一時姿を消し最近各地で復活しつつあるも、製作場所は地区の集会所等を利用したり、奉納の際は、リヤカーや自動車に積む等して部落を一巡している。

常盤地区は初奉納より1年も欠かすことなく（古伝）製作に当たっては御宿の風習を続け、奉納の祭は水垢離で身を浄め、まわし1本の姿を守り続けている。このように古来からの伝統を守り奉納……。

以上の点からこの行事を永久に継承していく価値があると認められ……。」と書かれてあった。

◇歯なしの話 133◇

最近気に入ったコマーシャル
佐藤　透

とにかく、面白いのである。私はこういうコマーシャルが好きだ。「元気ですか……」と言って人の横面を引っぱたく。引っぱたかれた人は少々顔をゆがめながらもニコニコしているのである。多分痛さ半分楽しさ半分なのであろう。

最近は蔦温泉のコマーシャルに出ている。

この組み合わせは不釣り合いなのである。故に面白いのである。彼は真剣に人を叩くのである。そして相手の健康を祈るのである。その時に「元気ですか……」というのである。彼のバックに蔦温泉が出てくるのである。

しかし当のアントニオ猪木氏は二〇二二年10月1日に病死したのであるが、元気な時に撮影した映像はまるで今も生きているかの様に、それこそ生き生きとしているのである。

「元気ですか……」と言って老人達に長生きしろよとでも言いたげな映像である。

蔦温泉近くにお墓を作ったそうである。

妻の田鶴子さんのための様である。そして今日もまた「元気ですか……」とテレビに向かって言っている猪木氏である。

とてもとても面白くて、本当に元気の出る、そして生き生きとした映像である。

何のてらいも無いので心より楽しめて喜べる。

こういうコマーシャルはきっと争いや戦争をなくするのではないかと想像する。

◇◇川柳◇◇

新年を心して剥ぐ老いの指　成田波麻
ライバルの握手の中の嫉妬心　田中さち子
握力の数字が語る体力度　木村羊川
メモ多すぎ困惑してるカレンダー　佐々木トミヱ
旧暦にぴったし進む農作業　清水川魚
孤独感スマホにうった妄想記　新谷結城